



第22回通常総代会 終了のお礼

蒸し暑い日が続きますが、皆さまいかがお過ごしでしょうか。

6月22日(土)第22回通常総代会が橿原市商工経済会館にて開催され、皆さまのご協力をおもて全議案賛成多数により承認いただきました。無事終了できましたことを心よりお礼申し上げます。

総代総数 199名

出席総代数 179名 ※議長を除く

(本人出席37名、代理人出席1名、書面議決書141名)

第1号議案:賛成 多数 反対 0票 保留 7票

第2号議案:賛成 多数 反対 0票 保留 7票

第3号議案:賛成 多数 反対 0票 保留 7票

第4号議案:賛成 多数 反対 0票 保留 6票

第5号議案:賛成 多数 反対 1票 保留 5票

アピール :拍手で確認されました



また、午後からは懇親会として、パタゴニアプロビジョンズの近藤勝宏さんにご講演いただきました。アウトドアを通して自然破壊を実感し、地球を救うことをビジネスの目的に定めて事業に取り組んでいるというお話に刺激を受けました。その後はご参加くださった生産者さんの即売会もあり、大いに盛り上がりました。ご参加ありがとうございました。

次期総代のご案内

現総代の任期は2024年9月30日までとなります。

次期(2024年10月1日～2025年9月30日)も総代として引き続きお力をお貸しいただけますようお願い致します。

ぜひお友だち(7/7以前から組合員である方)もお誘いください。

現総代の方も、改めて立候補いただく必要があります。

下記、QRコードから入力フォームに記入・送信してください。または下記にご記入の上、切り取ってご提出ください。

(キリトリ)

生活協同組合コープ自然派奈良 選挙管理委員会 御中

総代立候補届

定款第45条、選挙規約第6条にもとづき総代に立候補します。

総代選挙規約第6条 被選挙権を有する全ての組合員は、自由に立候補し、又は被選挙権を有する組合員の中から候補者を推薦することができる。

氏 名

お住まいの市町村

※立候補届はOCR用紙と一緒にセロテープ等で留め、カタログと混ざらないようにご提出下さい。



締切:9/27(金)

第22回通常総代会にお寄せいただいた主なご意見への回答

◆第1号議案

Q1. 人員確保について、配送19コースで19人というのは厳しいです。加入率アップのための土日稼働の恒常化も無理のないように願います。

A1. 配送スタッフについては、賃金引上げ、商品学習会などの研修、コミュニケーションの工夫などで退職を防ぐ取り組みを続けています。拡大スタッフの土日出勤に関しては平日に振替で休みをとるなど、無理なく続けていける体制を整えていきます。

Q2. 1人あたり加入費用31139円は高いです。新規加入よりも、現在加入している組合員のメリットを増やすことで、ロコモで組合員が増えるのではないのでしょうか。例えばお米クーポンを使いやすくする、大和ひみこ米の購入補助をどんと実行する、こだわり(カタログ回収、プラごみ削減、Rピン増加、福祉など)を見える化するなど、商品の持つこだわりにも共感してもらいたいです。

A2. 1人あたり加入費用には、人件費、車両、施設費用の按分などが含まれています。加入人数が増えれば単価は下がりますので、加入を増やすことが組合員への還元だと考えています。お米クーポンに関しては、分かりやすい仕組みに変更予定です。再開をお待ちください。

Q3. 冷凍小松菜をレンジで解凍したところ食品から火花が出たため、食べずに廃棄し、その旨をサービスセンターに伝えましたが、納得できる回答が得られませんでした。2023年度の脱退数は1217人です。組合員拡大を願うのであればまずは脱退者を減らすことを考えるべきではないでしょうか。問い合わせに対する組合員への誠意ある対応を望みます。

A3. 申し訳ありませんでした。スタッフ全員が誠意ある対応ができるよう研修・指導を強化していきます。

Q4. びん再利用ネットワークについて詳しく教えてください。

A4. パルシステム、グリーンコープ、生活クラブ、東都生協の4つの生協(連合会)がつくったネットワークで、統一びんによるリユースを行っています。このネットワークにコープ自然派も加盟しました。びんリユースの取り組み推進に向けて引き続き取り組んでいきます。

Q5. 福祉ビジョンについて詳しく教えてください。

A5. コープ自然派奈良がこれから福祉に取り組んでいくにあたり、中長期的なビジョンを持ちたいと考えています。2024年度はこの福祉ビジョン策定に向けた学びの1年として、第7次中期計画とも連動しながら進めていきたいと考えています。

Q6. 労働者協同組合百企画について教えてください。

A6. 新しい協同組合の形として「労働者協同組合」が設立できるようになり、コープ自然派奈良でも労働者協同組合百企画の設立を支援しました。現在は広報紙「まほろば元氣通信」の編集業務を委託しています。



Q7. 太陽光発電施設の監視機器がサイバー攻撃を受け、ネットバンキングによる不正送金に悪用されました。ウイグル強制労働などのためアメリカでは輸入禁止です。パネルは有害物質を含むため産廃扱いでしか処理できません。産廃費用やパワコン取り替え費用等ペイできますか?そもそも発電効率約20%で不安定なため火力のバックアップを必要とします。以前要望した制度の高いライフサイクルコスト算出やデータはどうになりましたでしょうか? 火事の際にも感電するため放水できません。組合員の動産を火事の際どのように保護するのか具体的に示してください。

A7. 太陽光に限らず、サイバー攻撃に対する対応は強化しています。今回導入したパネルはウイグルフリーの証明書つきですが、太陽光パネルに限らず、どんな家電製品にも環境や人権の課題はあります。少しずつでも原発や化石燃料で発電した電気の使用を減らす目的で取り組んでいます。コストは、リース料の上乗せと電気代の削減を相殺し、現在の試算で年間約38万円コストダウンになる計算です。パワコン取り替え予定の15年後に向け、廃棄やリサイクルについても情報収集を継続します。火事の際に放水できないというのは誤情報であると消防庁が見解を出しています。

◆第3号議案

Q8. アレルギーの活動促進につながればと思い、7月7日のイベントを紹介させていただきます。広陵町で「誰もが食べられる炊き出し」メニューを作る企画を行います。食物アレルギーはもちろん、ハラールや生活習慣病で食の制限のある方でも安心して食べられる(もしくは本人が食べるか判断できる)だけでなく、炊き出しをする方たちも作りやすいメニューを考えます。能登半島地震においても、炊き出しに何が入っているか分からず食べられない方がたくさんいました。炊き出しといえばカレーやシチューが多く作られますが、それに代わるおかずを出せるようにしようという取り組みです。

A8. 災害時のアレルギー対応という大切な視点をありがとうございます。一緒に学んでいけたらと思います。

Q9. 他生協では、班での配送でも袋は個人別に分かれています。エネルギー問題を考えても班を推進したいので、袋を分けることを検討してほしいです。また、子育て支援の配送料無料も3歳くらいまで延長できないでしょうか。

A9. 検討します。

Q10. 「いのち・自然・暮らしを大切に」理念の実現に賛成です。すべての取り組みがこの理念に合っているか考えていってほしいです。「原発のない社会」を目指しましょう。

A10. ありがとうございます。引き続き真摯に取り組んでいきます。

◆その他

Q11. 商品ラベルについて。流水解凍するものに関して、一定時間水につけておくとシールがふやけてボロボロしてしまい、使いづらさを感じています(特にマグロのたたき)。改善していただけると嬉しいです。

A11. 水にぬれてもボロボロしないためにプラスチックのラベルが使用されることが多くあります。コープ自然派ではプラスチック削減を掲げているので、できるだけ環境に負荷をかけない方法での改善を模索してみます。

Q12. 総代会での本人出席の人数にこだわってほしい。

A12. できるだけ多くの総代に本人出席していただけるよう引き続き取り組んでいきます。